

平成 26 年 8 月 18 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

スリランカ投資庁との業務提携について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行）は、本日、スリランカ民主社会主義共和国（以下スリランカ）の投資促進機関であるスリランカ投資庁（Board of Investment of Sri Lanka）とスリランカへの投資促進に向けた業務提携に関する覚書を締結いたしました。

スリランカ投資庁は、1978 年に大コロombo 圏経済委員会（Greater Colombo Economic Commission）として設立され、1992 年にスリランカ投資庁として改組された、国外からの投資誘致の中心的な役割を担う独立機関です。スリランカへの投資を検討している投資家は、スリランカ投資庁と合意文書を締結することで、一定条件の下で法人税や関税等に対する優遇措置を受けられるほか、投資に関するアドバイスや支援を受けることができます。

スリランカは、2009 年の内戦終結以降、復興需要や観光産業の発展から高い経済成長を実現しており、国内でのインフラ投資も活発化しております。また、国内の政治や社会情勢の安定を背景に、質の高い労働力、地理的な優位性、豊富な観光資源といった同国の特色や、インフラ整備関連のビジネスチャンスに注目する日系を含めた国外の企業からの関心が高まっています。

三菱東京 UFJ 銀行は、本覚書締結により、今後、スリランカ投資庁とのセミナーの共同開催など、スリランカのビジネス環境や有望なプロジェクト等に関する各種情報提供を通じて、スリランカに対する国外からの積極的な直接投資の促進に寄与するとともに、同国での事業展開を検討しているお客さまのサポートを充実してまいります。

以上